

レッジョ・エミリア・アプローチの視点より 「参加」の考え方

～家族やコミュニティの参加をどのようにデザインするか～

2023年5月25日(木) 18:30-20:30 (開場 18:00)

会場：東京大学 福武ホール（福武ラーニングシアター）

逐次通訳あり 参加費無料 事前申込制（先着150名）

子どもたちの創造性を引き出すアプローチと、常にコミュニティの参加から教育がアップデートされていく点に大きな特徴をもち、近年さらに注目をあつめている北イタリア発祥のレッジョ・エミリア・アプローチ。

このシンポジウムでは、レッジョ・チルドレンのマリーナ・カスタネッティ氏をお招きし、同アプローチの根幹をなす「参加」の概念について、レッジョ・エミリアの幼児学校・乳児保育所の保育現場での具体的事例を交えながらお話いただきます。

また、コロナ禍を経た今、日本の保育現場でどのように家族やコミュニティの参加をデザインしていくのか、参加者のみなさんと考えていきます。

開会挨拶 松本 理寿輝（JIREA代表）

講演 マリーナ・カスタネッティ（レッジョ・エミリア市幼児学校・乳児保育所施設ペダゴジスタ、
レッジョ・エミリア・コラボレーター（レッジョ・チルドレン））
【逐次通訳（伊→日）：清水 朋子】

対談 マリーナ・カスタネッティ
秋田 喜代美（学習院大学教授・東京大学名誉教授）
浅井 幸子（東京大学 教授／CEDEP 副センター長）
野澤 祥子（東京大学 CEDEP 准教授）：コーディネーター



マリーナ・カスタネッティ Marina Castagnetti
レッジョ・エミリア市幼児学校・乳児保育所施設ペダゴジスタ、レッジョ・エミリア・コラボレーター（レッジョ・チルドレン）
1982年から1999年までディアーナ幼児学校の教員として勤務し、「子どもたちの100の言葉」展の数々のプロジェクトに携わった。2000年から2016年までドキュメンテーションセンターに勤め、現在はレッジョ・チルドレンの国際部門で、育成コースやコンサルティング活動の運営に携わっている。

申し込み方法：以下のPeatixサイト上よりご参加登録をお願いいたします。

<https://jireacedep-symposium.peatix.com/>